

# フィフティだより

発行 丹波篠山市男女共同参画センター「フィフティ」  
令和6年6月21日

「血液型」を聞くと、  
“きつとこんな性格だ”  
と思う

「普通は〇〇だ」と  
思うことがある

「日傘」は、女性が  
さすものだと思う

「親が単身赴任中」ときくと、  
父親を思い浮かべる



令和6年度第1回男女共同参画研修会

## それってホントにあたりまえ？

～アンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)を知ろう～

7月11日(木)

19:00～20:30

丹波篠山市民センター(2階多目的ホール)



講師  
はまのちかこ  
浜野千春さん

NPO法人フェミニスト  
カウンセリング神戸所属  
/国家資格キャリアコン  
サルタント・社会福祉士

問い合わせ 男女共同参画センター「フィフティ」☎552-1511 (FAX) 552-1061

女性活躍の障壁となっているアンコンシャス・バイアスを学ぶ講演会を開催します。育児のため、休暇を取得している人を思い浮かべたとき、何のためらいもなく「女性」を想像したという人は、とっさに連想したその反応こそがアンコンシャス・バイアスです。

アンコンシャス・バイアスがきっかけとなり、知らず知らずのうちに相手を傷つけたり、相手を苦しめたりしていることがあります。

自分の中にあるアンコンシャス・バイアスに気づき、だれもがいきいきと生活できる社会について考えるきっかけにしませんか？

男女共同参画週間 6月23日～6月29日  
だれもがどれも選べる社会に (令和6年度キャッチフレーズ)

男性と女性がそれぞれの個性と能力を発揮できる「男女共同参画社会」を実現するためには、市民のみなさん一人ひとりの取り組みが重要です。

「男女共同参画週間」の期間中は、丹波篠山市民センター 1階 男女共同参画センター「フィフティ」において、啓発展示を実施します。お気軽にお立ち寄りください。



### 女性委員会提言報告会

第11期女性委員会が、市政に関する提言書を酒井市長に提出されました。「だれもが安心して利用できる『おもてなしトイレ』」で丹波篠山にいらつしやい」と題した提言書は、清潔で快適な丹波篠山市の公共施設のトイレの整備をめざし、特に三の丸広場のトイレの改修を提言されました。

提言の内容は洋式トイレを標準仕様とする、男性用、女性用のトイレの外にバリアフリートイレの設置、オストメイト、ベビーベッド、ベビーカーなどの設置、乾式トイレの設置などです。

女性委員会の提言が一つでも反映され、利用者に寄り添ったトイレとなることを期待しています。

詳しくはこちらから▼



### 兼子香緒里



令和4年10月、市民センター内に男女共同参画センター「フィフティ」が開設され、相談員としてお世話になり、もう2年近くになります。多くの市民の方々とお会いしたり、お話したりと、楽しく充実した毎日です。悩み相談だけでなく、気軽におしゃべりに寄っていただけたら嬉しいです。

### 小島賀子



男女共同参画センター「フィフティ」の相談員の小島です。あなたの心配ごとや不安を、一人で悩まず相談してみませんか？あなたの気持ちと心を第一に尊重し、ともに問題の整理をしながら、必要な情報提供も行います。ぜひ、お気軽に「フィフティ」をご利用ください(秘密厳守です)。

男女共同参画センター  
相談員紹介

### 困ったときの相談窓口

相談の内容	相談窓口	連絡先	対応時間
・男女共同参画に関する相談 ・女性相談	男女共同参画センター	☎552-1511	火～日曜日 (祝日、年末年始除く) 9:00～17:00
・専門機関(フェミニストカウンセリング神戸)による女性のための悩み相談(要予約) ※各日3枠まで。			7月19日、8月9日・25日、9月20日、10月18日、11月15日、12月20日、1月17日・26日、2月21日、3月21日(金曜または日曜日)
・人権相談 ・女性のための悩み相談 ・性的マイノリティ特設電話相談(要予約)	人権推進課	☎552-6926	月～金曜日 (祝日・年末年始を除く) 9:00～17:00
・総合生活相談 (人権や生活上のさまざまな相談を受ける身近な相談窓口。必要に応じて関係機関へつなぎます)	畑ふれあい館	☎552-4401	
	日置ふれあい館	☎556-2850	
	西紀ふれあい館	☎593-0093	
・ふくし総合相談窓口 (どこに相談したらいいのか分からない相談や、福祉の相談を受ける窓口)	味間ふれあい館	☎594-1003	月～金曜日 (祝日・年末年始を除く) 8:30～17:15
	古市ふれあい館	☎594-1001	
兵庫県女性家庭センター (配偶者暴力相談支援センター)		☎078-732-7700	年中無休 9:00～21:00 ※緊急時は24時間対応。
兵庫県警察本部 ストーカー・DV相談		☎078-371-7830 (危険な時は110番)	年中無休 24時間

## 男女共同参画センター 催しのご案内

### 【共通事項】

- 参加費 無料
  - 会場 丹波篠山市民センター
  - 一時保育 無料 各開催日の7日前までに要申し込み
- ※各事業の詳細については、開催のおおむね1カ月前にホームページでお知らせします。

### 連続講座 第3回フィフティ連続ミニ講座

## 国会よもやまばなし

主婦からいきなり衆議院議員になった中川智子さん。どんな風景が見えたのでしょうか。会場の皆さんの疑問にお答えしながら、楽しく政治を語り合しましょう

- 日時 8月23日(金) 13:30～
- 定員 30人 ※先着順。
- 講師 中川智子さん ※一時保育あり。

### 連続講座 第4回フィフティ連続ミニ講座

## 老いをいかに生きるのか

だれもが迎える「老い」をどう生きるかは、どのように「死」を迎えるかの問題です。「生死」として考えることです。皆さんとともに考えていきたいと思ひます。

- 日時 10月30日(水) 13:30～
- 定員 30人 ※先着順。
- 講師 源淳子さん ※一時保育あり。

### セミナー 女性起業カフェ in丹波篠山

## はじめの一步

丹波篠山市で起業された先輩女性経営者から、起業に必要な情報を収集したり共有し、参加者同士の交流を行います。

- 日時 9月26日(木) 14:00～
- 定員 10人
- 講師 梅谷美知子さん(うめたんFUJI店主) ※一時保育あり。

※市内在住・在勤・在学の方が優先的に受けられます

### 相談

## ちょこっと相談

子育てのことや家族のことなど、少し話したら気持ちが楽になりますよ。中川智子アドバイザーが秘密厳守でお話をお聞きます。

- 日時 7月17・26日、8月21・30日、9月18・27日、10月16・25日、11月13・22日、12月4・13日、令和7年1月15・24日、2月19・28日、3月14・19日(水曜または金曜日)
- ①13:00～13:50 ②14:30～15:20
- 定員 1人(グループの場合は3人まで可) ※先着順。※一時保育なし。

### 相談

## 第1回女性のためのチャレンジ相談

仕事や起業など何かを始めるときは、不安や問題がたくさんあります。今まで多くの女性をサポートしてきた女性相談員があなたのライフプランに沿ったアドバイスをします。

- 日時 11月16日(土) ①9:30～②10:30～③11:30～
- 対象 女性(市内在住・在勤・在学の方)
- 定員 各回1人
- 相談員 飯鉢仁弥さん ※一時保育あり。

### 第1回

## 中川智子アドバイザーの エッセイ

私のひとり暮らしも早いもので、もう20年になります。家事も年を重ねるごとに、おつくうになってきましたが、中でも食事作りは大変です。

でも、かすみを食べて生きてはいけません。作り出す。元来、食べることは大好きなので、献立を考え、食材を求め、料理ができあがって、お酒をキュッと一杯やると、努力は報われて至福の時が訪れます。幸せなひとときです。家事は女の仕事だと根拠のない理屈で生きてきて、全く自立できていない男性(夫)が妻に先立たれた姿は、気の毒で見るとたえませんが、みるみる気力、体力がなくなって、家に閉じこもり、数年で妻の後を追うということにもなりかねません。性別役割分業なるものは、このように個人の自立を阻んでいます。夫が妻より先に逝くとは限りません。「家庭は夫婦で力を

Essay by Advisor Tomoko Nakagawa



合わせて築くもの。どちらかががまんしていたら、いつかほころびるものよと夫の母はよく言っていました。お姑さんがひとり息子をしっかりと自立した人間に育ててくれたおかげで、結婚相手の私の人生は豊かでより広い世界で頑張ることができたと、心から感謝しています。性別役割を決めないこと、人間として互いを尊重する家庭を作っていくことが、旧態依然としたこの社会を変える、最初の一步になると信じます。男女共同参画センター「フィフティ」は、今年度も楽しい連続講座と市民に寄り添った相談を中心、「たった一度の人生をより豊かに生きる」ことをめざして活動していきます。

### 男女共同参画センター催し

### 連続講座 第2回フィフティ連続ミニ講座

## 介助犬を知っていますか? ～みんなに何ができるか考えよう～

7月30日(火) 14:00～16:00

丹波篠山市民センター2階 催事場1・2

### 講師

- 木村佳友さん&介助犬エクラ
- 中川智子さん(男女共同参画アドバイザー)

定員 60人  
※先着順。



木村佳友さん&介助犬エクラ

### — 木村さんと介助犬 —

木村さんは、昭和62年に交通事故による頸髄損傷で車いす生活となり、入院・リハビリを経て、平成4年に在宅勤務で復職されました。

そのとき、飼っていたラブラドル犬「シンシア」が介助犬としての訓練を受け、平成8年に介助犬として認定。以来、介助犬との生活が始まりました。現在は、4代目「エクラ」と生活されています。

木村さんと初代介助犬「シンシア」は、平成14年の「身体障害者補助犬法」の成立などに尽力、貢献されました。

木村さんは現在、「日本介助犬使用者の会」の会長などを務められる一方で、生活のパートナーとしての介助犬の役割や重要性に対する社会の理解を広めるため、相棒の「エクラ」と一緒に、各地に赴き、講演活動などを行っていらっしゃいます。

この機会にぜひ、介助犬のことを学びませんか。